

蔵前 かわら版

街歩き MAGAZINE
— 蔵前商店街編 —

蔵前に来た人にも、暮らす人にも、
これから来る人にも。

2025.2 #2

Take Free

蔵前商店街
MAP付き

Take Free

with
Kuramae
map

KURAMAE 蔵前 KAWARABAN かわら版

CITY WALK MAGAZINE
— KURAMAE SHOTENGAJI edition —

For those who've come to Kuramae,
those who live in,
and those who are coming to.

2025.2 #2



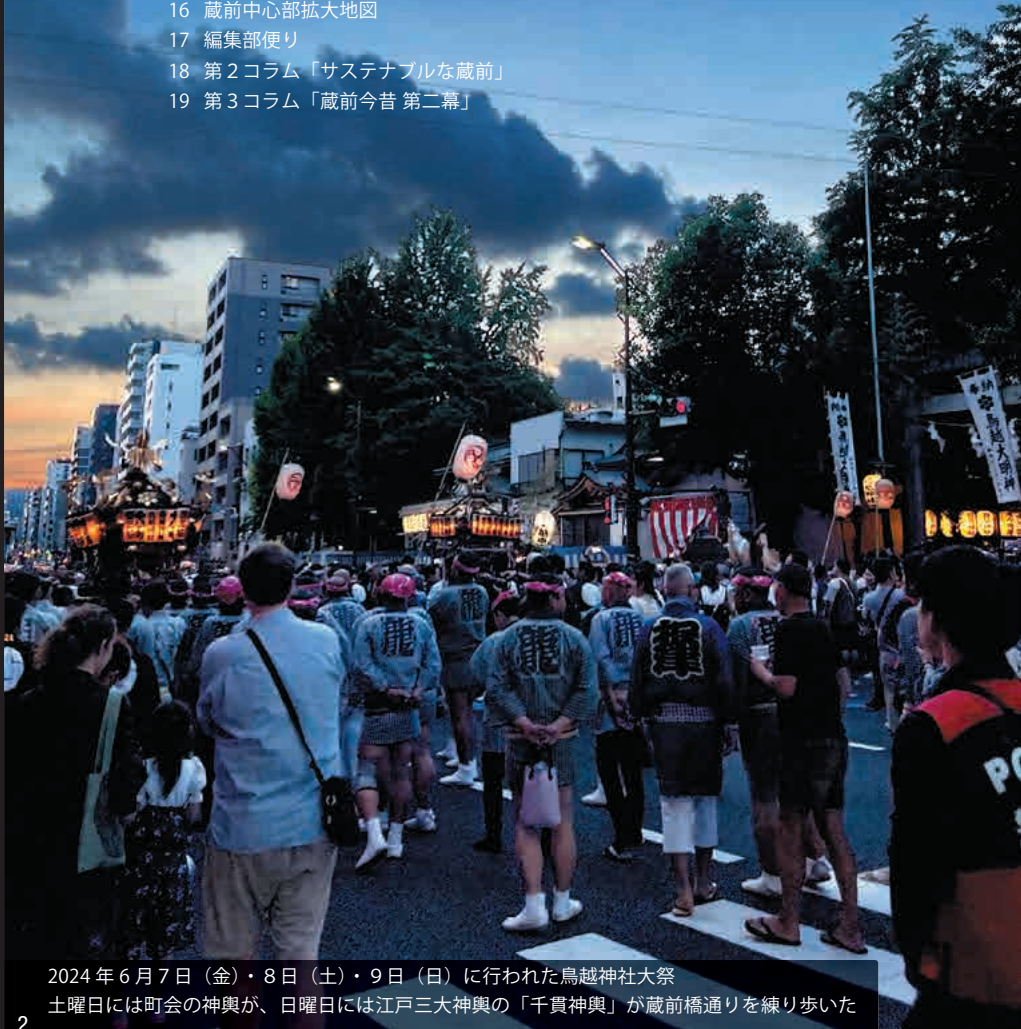
蔵前 かわら版

街歩きMAGAZINE
— 蔵前商店街編 —

2025.2 #2

目次

- 3 KURAMAE MAP
- 5 第1コラム「蔵前商店街座談会 vol.2」
- 11 蔵前商店街全83店紹介
- 16 蔵前中心部拡大地図
- 17 編集部便り
- 18 第2コラム「サステナブルな蔵前」
- 19 第3コラム「蔵前今昔 第二幕」



2024年6月7日(金)・8日(土)・9日(日)に行われた鳥越神社大祭
土曜日には町会の神輿が、日曜日には江戸三大神輿の「千貫神輿」が蔵前橋通りを練り歩いた

読者の方へ

蔵前商店街「蔵前かわら版」を手に取っていただきありがとうございます。

世間では商店街が減り続けている中、蔵前商店街の加盟店は増えていて、現在83店舗の会員で構成されています。

新しいお店が増えている蔵前エリアを中心に、商店街を線ではなく面で捉えた地域貢献や横のつながりを重視した商店街です。

地域密着のイベントや定期清掃、情報誌の発行など、蔵前に住んでいる人はもちろん、蔵前に来る人たちに蔵前の街・各商店の魅力を伝える取り組みを行っています。

想いに共感した地域の仲間が集まった蔵前商店街は、笑顔があふれる街に向けて、これからも温かい街を守り続けます。

ぜひ、この冊子とともに、蔵前のお店を散策してみてください。蔵前特有の温かな街を実感してみたいと頂けると幸いです。

蔵前商店街会長 関 明泰



2024年10月27日(日)に行われた「第5回 蔵前商店街カラポン抽選会」の様子
2,000人もの人々が地区内外から訪れ、並行して行われたマルシェとともに大盛りだっ



前号に引き続き、蔵前商店街のメンバー4名による座談会形式のフリートークです。そもそも蔵前商店街とはどんな組織なのか？どんなお店が参加して、どんな思いで活動しているのか？そして、今後どのようにしていきたいのか？など、蔵前の街と人のかかわりに触れながら、ざっくばらんに語っていただきました。



蔵前商店街 座談会 vol. 2



蔵前と蔵前商店街を 紹介する『蔵前かわら版』

山本…この「蔵前かわら版」という冊子は昨年、蔵前商店街の責任編集で初号を発行して、今回で2号目になります。今日は蔵前商店街に所属する4つのお店の方に集まってお話を聞きました。それぞれ自己紹介をお願いします。

関…蔵前商店街の会長をやっている関です。この「蔵前かわら版」で地域越しを通じて、横の繋がりを深くしたいなという思いでやらせていただきましたので、今日はよろしくお願ひします。

若林…蔵前で天ぶら屋をしている若林です。よろしくお願ひします。

兼岩…蔵前で整体サロンをやっている兼岩と申します。よろしくお願ひします。住所的に鳥越2丁目なんですけど…

関…「らくなり」というのは、なんか名前の由来があるんですか？

兼岩…「体が楽になりますように」という思いを込めて「楽」と「成る」で「らくなり」です。

山本…「らくなり」そうなんです。言葉の響きにそうなのかなと思っていました。

関…ところで、「いせや」さんは名前の由来って、何なんですか？

若林…一番初めに三重の伊勢から上京して商売を始めたからなんです。

関…へえー、そうなんだ。知らなかった。

若林…かなり昔のことですけど、大田田舎から東京に出て来た人って、お店に田舎の名前を付けるらしいんですよ。

関…「いせや」さんは、江戸前っぽい衣の感じなんです。江ノ浦前って、お店の名前が「いせや」って、ちよっと特徴的なんだけども、山本…そうですね。あれが江戸前天ぶらだと思っただけで、「いせや」さんスタイルなんです。確かに衣はサクサクじゃなくて、カリッとした感じで、とても美味しいです。

関…私なんか生まれて頃から「いせや」さんで食べて、天ぶらという「いせや」という感じでした。

若林…身近な人なんかは、結構ウチの天ぶらを昔から食べてくれるから、地方に行くと天ぶらを食べて帰ってくる、と、「あれって、天ぶらなの？」って言われることもあります。

山本…「いせや」さんは、蔵前の住人の舌を作っちゃってますね（笑）。兼岩…「いせや」さんも50年以上も営業している、やっぱり大変な時期とありましたか？

若林…僕の代になってから30年目ぐらいなんですけど、蔵前はその頃に比べると今の町じゃなかったんですよ。30年ぐらいうちと比べると、平成初期（1990年）ぐらいで、どっちかっていうと中小企業の街で平日の

関…「いせや」さんは、江戸前天ぶらの老舗ですからね。今まで東京生まれのお店になって思っていました。山本…へえー、私もそう思っていました。私は山本夕紀と申しまして、1年後の自分に手紙が書ける「自由丁」と「封灯」というお店の店長をしています。「封灯」の方はちよっと喫茶店的な要素を取り入れたものになっています。よろしくお願ひします。では早速ですが、それぞれどういう感じのお店なのか、もうちよっと詳しく教えていただけますか？

兼岩…うちのサロンは、「産前産後」の方の整体がメインで、その他に一般の方の整体や、足ツボをやっています。

山本…へえー、足ツボは？

兼岩…足の裏をグリグリ、グリグリ。足ツボは奥さんの担当でやっています。

山本…ご夫婦でやられてるんですか？

兼岩…夫婦2人で、年中無休でやっています。

山本…どうして「産前産後」をメインにしようと思われたんですか？

兼岩…蔵前は、一般的な接骨院さんが多いのは知ってんですけど、ファミリー1層も増えてきているということ、「産前産後」に特化したお店がないなと思って。そういったママさん達をサポートできたらいいなと思って「産前産後」の整体をメインにしました。

山本…「産前産後」っていうと、普通の整体とはどのように違うんですか？

兼岩…やっぱり一般の方に施術するのはちよっと違いですね。妊婦さんは、整体やマッサージを受けるっていうこと自体が不安なんです。妊婦さん特有の症状があって、肩も凝るし、初めて味わうような症状が出てくるんですよ。

若林…単品料理は主に1階のカウンターで、宴会のコース料理は2階の座敷で提供しています。この辺りは法事などが多く、そういう時は2階の座敷を利用していただいています。

山本…ランチの利用以外にも法事利用も多いですね。確かに座敷だったら、小さいお子さま連れでも安心して過ごせますね。

若林…そうですね、カウンターだと小さなお子さんが落ちる危険性もあるけど、そういう心配がないから座敷の方がくつろげてゆったりできると思います。

山本…最近はいんぱうドのお客さんも多いと思います。

若林…確かに特に週末なんかは海外のお客さんも多かったです。

山本…私も食べたいです。なんか日本の浅草ほどではないですね。

若林…私も食べたいです。なんか日本の老舗って感じで、こちんまりした外観で…

若林…「いせや」って、けっこう味に特徴あるから、初めて食べた人は「これが天ぶら!?」って感じちゃうかもかもしれません。

山本…確かに。それは驚きました。私、江戸前天ぶらを初めて食べたのは多分「いせや」さんなんです。

関…私もそうです。

山本…ところで、江戸前天ぶらと普通の天ぶらの違いは何ですか？

若林…基本的には江戸前天ぶらって言うとは、東京湾で採れた魚を使ってる、あとごま油で揚げて香ばしいのが特徴です。だけど、今は東京湾でなかなか採れないんですけどね。

山本…へえー、ところで衣とかは「いせや」さんの独自の感じなんですか。

よ。そういった方の不安を取り除くには、「産前産後」に特化したことで、安心感があったって皆さん選んでいただいているような感じですね。山本…なるほど。奥様が妊娠された時にも、兼岩さんは奥様に整体をされたのでしょうか？

兼岩…はい、やらせていただきました（笑）。山本…すごく素敵ですね。優しい。実はちよっと私の友達にも産後の人が多くいます。ぜひ、兼岩さんのところを紹介したいと思います。

若林…以前、「自由丁」に行く直前に私のサロンに2人組のママニティさんが来ましたよ。これから「自由丁」に行くんですけど、時間がまだあるからって。同じ中学の出身らしいです。山本…えー、知らなかった！嬉しいです。ところで、若林さんは、何か質問ありますか？ 整体というお仕事について。

若林…ホームページをひと通り見せてもらったんですけど、免許を持っているの「当店ではリラクゼーション目的のため、治療行為は一切おこなっておりません」と書いてあるのはどうしてですか？

兼岩…そうですね、私が持っているのは国家資格ではなくて、認定資格なんです。治療行為はまた違うんです。国家資格の柔道整復師さんとか接骨院さんとはちよっと違うところになるので、治療行為はできませんっていうようなことは言っておかないじゃないんです。あくまでもリラクゼーション、楽になる、改善するっていうような言い方ですね。

山本…ところで、サロンの施術室は完個室なんですか。



山本…なるほど。また、「なぜ蔵前？」というようなことはこの後お聞きしたいと思うんですけど、一旦、若林さんのお店のことを聞きたいなと思うのでよろしいですか？ どんな特徴がありますか？

創業50年の老舗と新しいお店が共存

若林…うちは蔵前で50年以上営業させてもらってるんですけど、いわゆる江戸前の濃い味の天井と天ぶらのお店という感じですね。お客様になるべく早く食べてもらえるように心がけています。

山本…お席はカウンター席と2階の座



昼間はサラリーマンが食べに来るけれども、週末は静かな街になっちゃうんですね。問屋街もあつたけど、どこも営業してないし。でも、今はもう週末の方が人が多いでしょ。カップルとか観光客とか。

関 50年もやってあれだけ人気があるお店だと迷いが無いじゃないですか、きっと。でも、ちょっと新しいことにはあるんじゃないですか。

若林 そうですね。それもあるし、今の味を突き詰めていきたいということもありますね。ちよっと血迷ってサンドイッチを作っちゃったりとか。



関 血迷ってって(笑)。テレビの番組で「いせり」さんのサンドイッチが紹介されたりしますからね、そういう時ってやっぱり客足が伸びる、そこにあるんですか？

若林 やっぱテレビは凄いですよ。テレビ出ちゃうと、もう次の日からお

客さんが増えちゃって。でも、長続きはしないですね。せいぜい2週間ぐらいで。どちらかと言うと、雑誌に載った方が、しばらく続いてくれるっていう感じですか。

山本 それは嬉しいですね。「いせり」さんは蔵前に店を構えて50年以上経つわけですが、「らくなり」さんは何年目ですか？

兼岩 ウチはまだ1年ぐらいなんですけど、やっぱり「産前産後」というのが自分たちの強みでもあったので、それをやつた強い地域も探していくうちに蔵前に行き着いたという感じですかね。で、そういう困ってる方たちや辛い思いをされている方たちを手助けできたらなっていう思いで蔵前を選んだという感じですね。

顔見知りが多く 明るい雰囲気蔵前

山本 どうですか、1年間、このあたりで開業されてみて。街の雰囲気はどんな感じですか？

兼岩 はい。自分は子どもがいるので子ども目線で話すと、大きな公園もありし、明るい雰囲気もあって、やっぱり子どもとかファミリー層にとってはいい環境だなと思いますね。

若林 この辺は本当にいいと思いますよ。やっぱり知り合いが多いというのもあって、子どもが1人で歩いているのも誰かが見てくれるって感じ。でも、誰かが見てくれるって感じ。でも、山本さんがおっしゃる通り、おっしゃったときに、「入る、入る」とみたいな感じが入ったんですか。その辺の経緯を教えてください。

若林 誘われて「どうですか？」って言われても、もう全然抵抗なくなってます(笑)。

山本 幼馴染ですもんね。「やるよ」って言われて、「いいよ」みたいな感じ。ウチは敷居が高くない方だから、ちよっと安心してもらってもいいかな。

阿吽の呼吸で始めた 蔵前商店街

山本 ところで、町のエリアとか、一つのコミュニティの範囲って、どのくらいの範囲なんですか？

関 ざっくりで言うと、1000世帯、2000世帯ぐらいかな。今はね、マンションがあるから、もうそれだけで100世帯とか200世帯といっちゃうけど。

山本 1000世帯ですか。そうか、そうか。そのくらいのサイズ感の地域のコミュニティがあるって感じですね。近くのお店に行くみたいな感じでみんな自然に成立してるんですね、きっと。

関 昔はそうだよ。流通がまだ全然発達してなくて、地元で朝ご飯から夕ご飯まで、八百屋さんとか魚屋さんとかが近所にあつて、そこであんなものが揃ってた。

山本 昔から蔵前に住んでらっしゃる方が地元のお店に日常的に足を運ばれているのは分かるんですけど、最近住み始めた人だと老舗の店ってちよっと敷居が高くて入りづらいかなとも思いますがいかがですか？ また、平日と土日のお客さんの層は違ってますか？

若林 土日はやっぱり観光客が多いし、最近越してきた人は、まずは自分の周りをいろいろ探ってみようって感じで、恐る恐る入ってくるような人もいます

ね(笑)。ウチは敷居が高くない方から、ちよっと安心してもらってもいいかな。

山本 そんな感じの街の雰囲気の蔵前ですが、昔からいらっしゃる若林さんおっしゃったときに、「入る、入る」とみたいな感じが入ったんですか。その辺の経緯を教えてください。

若林 誘われて「どうですか？」って言われても、もう全然抵抗なくなってます(笑)。

山本 幼馴染ですもんね。「やるよ」って言われて、「いいよ」みたいな感じ。ウチは敷居が高くない方だから、ちよっと安心してもらってもいいかな。

親同士が親密になったりとか、それもいい街だなっていうのはずっと思ってきましたけど。

山本 蔵前に住もうと思うと「町会」がキーになると思うんですけど、町会があるから出来ると思うんだよね。

山本 そうなんです。その町会の催しで、お客さんが参加してよかったと感じたものって、どんなのがありましたか？



関 お餅つきとか、火の用心。火の用心の見回りは、子どもたちと一緒にやりますね。見回りの最後に温かいもの食べて「お疲れさん」みたいな。

若林 子どものお母さん方が何か温かいものを作ってくれて、終わったら後みんで食べて、「今年もありがとうございました」って言って解散する。

関 子どもも普段は夕方5時ぐらいに家に帰らないといけないけれど、火の用心の見回りに集まれば、お友達もいられる。

山本 なるほど、それは楽しいですね。若林さんはどうですか？

若林 クリスマス会とかやりますね。その時に映画の上映会もやってたりして、ウチのお隣の栄久堂さんが和菓子屋さんののにクリスマスパーティーのお菓子を作ってくれて、子どもたちに夕夕で振舞ってくれてるんです。

山本 すごいですね。優しい。ちなみに兼岩さんは参加された催しとかありますか？

兼岩 ウチの近所では消防訓練の後に小さな花火大会を子どもたちを招いてやります。手持ち花火なんですけど、そのあと、お菓子をもらったりして、すごく楽しみにしてるみたいです。

山本 へえ、なるほど。そういう意味でも子育てがしやすい街なんですね。今の仕事は基本的にファミリー層の方がお客さんになってると思うので、地域との相性バツリって感じですね。

兼岩 はい、これからはまた頑張りたいて思っていますね。



あるので、こつちも楽しいし、お客さんも楽しいというの、なかなか無いなって思いますね。お客さんにガラボンの抽選券を渡す時にもいろいろ話が膨らんだりして、深くコミュニケーションを取るきっかけにもなるので、イベントはすごく助かります。

山本 そんな話を聞くと、会長さんもおもしろい話ですね。

兼岩 去年から参加して、春と秋で2回ガラボンを経験したんですけど、必ずガラボンで知り合った方がいらっしゃいますね。ガラボン4等の駄菓子には手書きのメッセージカードが付いていて、たまたまウチのをもらってお客様が、そこからウチを調べてくれて来てくれたんです。

関 素晴らしい。

兼岩 あんなちよっちゃんいカードを見て来てくれたので、何とも言えない嬉しい気持ちになりましたね。

関 メッセージカードは、ただ単にお菓子をあげるんじゃないで、思いを伝えたいよねっていうことで作ったんだよね。手書きの温かさもあったと思う。

山本 そうですね。お店の人の人柄がわかるものがあるといえねっていうので、始めたんです。

関 必ず子どもたちが手伝ってくれてるんですよ。マスキングテープを貼る時に。

兼岩 すごい使命感を持ってやってくれますよ。

山本 嬉しいですね。地域の恒例行事になって来てますね。

山本 関さん、なんでガラボンにしようってなつたんですか？

関 台東区は筑西市さんと連携都市になって、「蔵前小コミュニティ祭」と

かを通じて仲良くさせてもらってるとは、お客さんとのつながりを考えた時に、最終的に何か景品をお渡しできるタイミングでコミュニケーションが取れる、ガラポンが一番いいんじゃないかなって言うことで始めました。

山本…ガラポンって、商店街っぽいんですよね。「ガラガラ」って、あの抽選器を回す機会が昔より減ったような気がするので懐かしい感覚がして楽しいです。

関…いろんなところで、そうだね。でも、ガラポンは去年の参加者が一番多かったかな。2000人は超えてたと聞く。

山本…ウチの店のスタッフもやってました。筑西市さんからもお野菜とか景品として提供してくれたんですけどね。

関…そうそう。今はお野菜も値段高くて、ファミリー層は嬉しいよね。

山本…確かに。お野菜は前日に届いたんですけど、その日に商店街のメンバーで袋詰めをやったりして、そんな手作り感もいなくなってしまいました。

山本…そうですね。単純作業だから割と口を動かせるっていうのがいいですね。ちょっとお喋りしながらできるといいですね。

関…新規に蔵前商店街に入った「ガラタ貿易」さんっていうところがあるんですけど、そこも一緒に袋詰めを手伝ってくれたりして…。横の繋がりがどんどん増えて行くなっていう感じですね。

山本…素敵です。若林さんはどうですか？もう地域に顔なじみの方ばかり入ってるんですけど、蔵前商店街に入ってみて、何か印象的だったイベントありますか？

若林…夏にそれができたらちよっと面白いんだけど、ちゃんと機作って、縁日の屋台なんかも作って、みんな浴衣で参加する…。

山本…面白いですね。盆踊りは蔵前にはなかったんですか？

若林…昔はあったんですけど…。**山本**…そうですね。どれぐらい前から無くなっちゃったんですか？

若林…僕が小学生の頃だから、もう40年ぐらい前かな。それまでは、けっこう各地域でやってただけだね。

山本…私も子どもの頃は地元で盆踊り大会がありました。

若林…今はね、そうそうないから…。**山本**…いいアイデア！

若林…そう、しかもすごい日本文化的でしょ。昔ながらの。蔵前の雰囲気にも合っているんじゃないかって…。

山本…夢が広がりますね。ありがとうございます。やっぱり少しずつ変えてって、楽しさを共有できるっていうのは、毎年同じことやっててもマンネリ化しちゃうし、何かみんなで楽しいことをやっていきないうって、新しいことを考えているんだ…。

山本…ありがとうございます。では最後に、ここまで読んでくださった読者のみなさんに何か一言ずつよろしいですか？

兼岩…蔵前って、表通りだけじゃなく路地裏にもたくさん魅力的な楽しいお店がいっぱいあるんで、ぜひそれを探してみ、散策してみたいなと思います。

山本…うん。足が疲れたら足もみです

トとか、楽しかったことかかってありますか？

若林…やっぱり週末にイベントをやってくれるんで、なんかもう、さらに忙しくさせてもらって、(笑)。そういう時って、新規のお客様が多いんで、それが店のことを知ってもらえるから、後日来てくれるかも知れないから…。

山本…盛り上がりを見せられてますね。最近一緒にマルシェもやるようになったじゃないですか。若林さんも行かれましたか？どんな様子でしたか？

若林…合同を見て行って来ました。あれが面白いって毎回、何となく天気大丈夫なんだよね。天気は重要だからね。

関…前日から当日の朝の10時頃まで雨降って、びしょ濡れで準備してたけど、そのあと晴れたりとか…。

若林…本当に天気に恵まれてるってことがあって、3時ぐらいに顔出すんですけど、もうみんなマツタリしてワイワイお茶飲んだり、お酒飲んだりして、公園の中で子どもたちが遊んでいるし、ある意味、公園の1番いい使い方だよな。

山本…うん、確かに公園っていいですね。お店入らなくても子どもたちもその辺で遊ぶことができるし…。前回はどんな方たちが、マルシェに出られたんですか？

兼岩…ありがとうございます。ぜひウチに来店してほしいですね。

山本…次は若林さん、お願いします。

若林…僕もたまに歩いていて思うんですけど、蔵前は今も進化中の街なんです。新しいお店もどんどんできるし、アイデアが詰まったお店もできる。だから1回切りで終わりがなくなるとか、そういうのを体験してもらって、また来たときに違うものが増えてるとか、そういうのを体験してもらって、その中でも昔ながらのウチみたいな店もあるよと感じてもらえればいいんじゃないですかね。

山本…それくらい楽しいところですね。どっちがいいとかじゃなく、新しい店もあれば、古い店もある。では、関さんからもお願いします。

関…今日の座談会で、蔵前が人間味に溢れた優しい街で、優しい人がいるっていうのが読者の皆さんにも伝わったと思います。

山本…今日は私の知らなかった蔵前というか、住んでいる人たちが蔵前の良いと感じているところ、町会だとかいろいろ聞けて、より人間味を感じられて良かったです。これが読者の方にも伝わって、温かい街だなと感じてもらえるといいなと思います。今日は皆さん、ありがとうございます。

一同…ありがとうございます。



関…環境に優しいマルシェとしてやってるんで、そういう人たちに中心に、本来捨てるものを捨てないで作品にしたりとか、靴屋さんの端切れの皮とかをカバンに貼ってトートバッグにしたりとか。あと習字の使い古した紙とかをウチワにしたりと…。

山本…ワークショップ系が多いですね。関…そうそう、ワークショップ系が中心です。今回、フリーマーケットをするのに当たって、商店街のメンバーのいるなかったものを集めさせてもらって、それを子どもたちが売らせてもらうのをやったら、すごい良かったなって…。

山本…あれは、今回からの取り組みですか？

関…今回から。

山本…確かにすごい、いいアイデアですね。

関…だから、いろんなお店の人が物を持ってきて、子どもたちに「売ってね」って言って、子どもたちは職業体験じゃないけど、大人に「どうですか？」みたいな感じで売ったり…。

山本…へえ、その子どもたちはどのように参加するんですか？

関…事前にSNSで募集をかけるんです。

山本…ガラポンって始めてからどのぐらい経ちますかね。

関…年に2回で5回目だから、3年目です。

山本…これからどういうふうに変化していくか楽しみですね。

関…蔵前って優しい街って言われがちで、人も優しいし、なんか雰囲気も優しいって言われてるんで、そこだけは変えずにやっていけたらなと思って…。

山本…前回の「蔵前かわら版」の座談会ときも関さんに話していたんですけど、もう何回もガラポンをやってきて、継続するのはやっぱり大変で、継続するためには常に少しずつでも変化していかなばならないということをおっしゃっていたので、次回以降も、乞うご期待といったところですね。

関…プレッシャーだね(笑)。

山本…では、この流れで今後どんな感じになっていくか楽しいかなというのを聞けたらと思うんですけども、皆さんいかがでしょうか？

兼岩…そうですね。今のガラポンのイベントみたいなものが増えるってやっぱりお客さんも楽しいし、やっても方も楽しくてWin-Winな関係でいられるので、また何かが、1年に1回でも、新しいことを関さんが増やしてくれるんじゃないかと期待しています。

山本…年2回の開催でも、1年はあつという間でした。ガラポンって、お客さんと出店者がWin-Winの関係になれるイベントだと思うんですけど、得するだけじゃなくお互いに楽しいっていうのが、すごく素敵だなと思います。

関…ありがとうございます。頑張ります。

山本…若林さんはどうでしょうか？

若林…今はまだ個人的な思いなんですけど、大きな盆踊り大会をやりたいたいなと思っていて…。僕が小学生の頃は



山本夕紀
ファミリーター
「自由丁」・「封封」店長

兼岩 孝
整体サロン
「Body Laboらくなり」
オーナー・整体師

若林 正
天麩羅「蔵前いせや」
店主

関 明泰
蔵前商店街会長・
「角打ちカフェタバ」
代表取締役社長

70 やさいやさん

ベジラボテイスト蔵前

〒蔵前 3-4-3
☎ 03-6681-7446
🕒 10:00-19:30
📅 不定休



55 ケーキ店

まるずcake

〒元浅草 1-14-13
☎ 03-5830-7102
🕒 10:00-20:00
📅 水



40 立ち飲み

イエロ蔵前

〒蔵前 4-12-1
☎ 03-5809-1280
🕒 平日 16:00-23:00
土・日 13:00-23:00
📅 水



71 カフェ・喫茶店

snaq.me stand蔵前

〒蔵前 3-4-3
🕒 11:00-18:00
📅 火



58 すき焼き店

すき焼き 一葉

〒蔵前 3-7-8-2階
☎ 050-6869-8102
🕒 11:30-22:00
最終入店19:30
完全予約制
📅 不定休



41 喫茶店

コーヒーショップらい

〒三筋 2-24-10
🕒 9:00-17:00
Bar 18:00-23:00
📅 日休み
Bar 日・祝休み



72 スリランカ料理店

SERENDIB

〒寿 3-8-3
☎ 03-6231-7325
🕒 平日 11:30-14:30
18:00-22:00
(L.O.21:00)
土・日・祝 11:30-14:30
📅 火・不定休あり



59 発酵料理教室・ケータリング

ほっこりごはん くぼやん

〒台東区蔵前
☎ 090-9213-2831
📅 不定休



45 未来へ手紙が送れるカフェ

詩的喫茶 封灯

〒蔵前 3-15-4-101
☎ 070-8957-1727
🕒 平日 13:00-21:00
土 10:00-21:00
日 10:00-20:00
📅 火
(祝日の場合は営業)



74 レストラン

101 ICHI MARU ICHI

〒寿 2-2-9
agora place 1階
☎ 03-5246-3490
🕒 月・火 7:00-20:00
水~日 7:00-翌4:00
📅 不定休



61 薬膳カレー店

WAKAN CAFE 無花果

〒蔵前 3-16-3
☎ 090-9104-1149
🕒 月・木・金・土・日・祝
8:00-18:00
火・水 12:00-18:00
📅 不定休
(HPにてご確認下さい)



46 ラーメン店

麺処むささんじん

〒駒形 2-3-4
☎ 03-6676-2695
🕒 11:00-14:00
18:00-0:00
📅 日・祝



75 キッシュとワインのお店

wine&quiche Pepe

〒寿 3-8-2
ワタナベビル 1階
☎ 070-8459-1863
🕒 11:00-21:00
📅 月



62 カフェテリア

Cafe Or Bar きこり蔵前

〒蔵前 2-2-3
☎ 03-6829-9676
🕒 11:00-翌1:00
📅 不定休



47 フランス菓子店

Patisserie Clair de lune

〒寿 3-8-5
☎ 03-3842-3470
🕒 9:00-21:00
📅 不定休



76 イタリア料理店

オステリアコプリテ

〒寿 3-13-9
☎ 03-5830-7181
🕒 月~土 11:30-14:00
月・水・木 17:00-22:00
金・土 17:00-23:00
日 11:30-15:00
📅 火



67 そば店

黒猫庵

〒蔵前 3-6-8
☎ 03-5809-2326
🕒 18:00-23:00
📅 日・月



48 ソフトクリーム店

Triangle

〒蔵前 3-15-1
☎ 090-3873-4610
🕒 11:00-16:00
📅 日~水



31 飲食店

ELAB

〒鳥越 2-2-7
☎ 070-1390-0599
🕒 11:00-18:00
📅 月



10 弁当製造・販売

仕出しみうら

〒蔵前 4-26-3
☎ 03-3851-7705
🕒 11:00-14:00
📅 土・日・祝



34 猫の居る居酒屋

KURAMAE路地裏の猫

〒蔵前 3-18-7-1階
☎ 070-4733-2020
🕒 18:30-23:00
(L.O.22:00)
📅 不定休



17 ハンバーガー店

バーガー喫茶チルトコ

〒蔵前 4-33-1
☎ 03-6820-3918
🕒 11:00-19:30
📅 不定休



35 コーヒーショップ

コフィンワ coffee nova

〒蔵前 3-20-5
☎ 03-5823-4445
🕒 11:00-18:00
📅 木



21 お持ち帰り海鮮丼専門店

くらや

〒蔵前 4-24-2
☎ 03-5809-1409
🕒 平日 11:00-14:00
17:00-19:00
土 11:00-14:00
📅 日・月



36 ダイニングBAR

Food & Bar Blue Juice

〒寿 1-2-10-103
☎ 03-3847-4771
🕒 18:00-翌4:00
📅 日



24 鮮魚店

魚熊水産

〒蔵前 3-20-5
☎ 03-3851-5914
🕒 11:00-19:00
📅 不定休



1 酒類小売業・角打ち・カフェ・からあげ

角打ちカフェタバ

〒蔵前 4-37-4
☎ 03-3861-1138
🕒 月・木 15:00-21:30
金 11:00-21:30
土・日・祝 11:00-20:30
📅 火・水



83 レコード・オーディオ販売買取店 

ギンザレコードクラマエ

〒 蔵前 2-1-23-3階
☎ 03-6240-9822
🕒 13:00-19:00
🗓 月



63 生花店 

蔵前花屋こめて

〒 蔵前 3-18-1
☎ 03-3866-5287
🕒 月・水・木・金・土 10:00-18:00
日 10:00-15:00
🗓 火




51 古着店 

RAUL GENERAL STORE


〒 三筋 1-4-15
☎ 03-5829-6078
🕒 月・火・金 13:00-15:30
水・木 13:00-15:00
土 13:00-18:00
🗓 日・不定休あり



26 自家焙煎店 

珈琲焙煎処 緑の木

〒 蔵前 2-3-1
☎ 050-3701-1178
🕒 12:00-19:00
🗓 日・月・水



3 和菓子店 

菓匠 榮久堂

〒 蔵前 4-37-9
☎ 03-3851-6512
🕒 9:00-18:00
🗓 火・不定休あり



78 イタリア料理店 

aperitivo&trattoria IL FIORE

〒 蔵前 3-4-3 2階
☎ 03-5829-5349
🕒 平日 11:30-14:00
18:00-23:00
土・日 12:00-23:00
🗓 月




64 縁起物雑貨店 

銀座 縁起いい屋

〒 蔵前 4-21-9 1階
☎ 03-5809-3817
🕒 11:00-16:00
🗓 不定休




52 雑貨店 

ハウモアリビング

〒 蔵前 3-22-7
☎ 03-5846-9797
🕒 11:00-19:00
🗓 不定休




30 クラフトジン蒸留所 

東京リバーサイド蒸留所

オフィシャルストア

〒 蔵前 3-9-3
🕒 13:00-19:00
🗓 不定休



7 雑貨店 

-ish general store

〒 蔵前 4-35-8
☎ 070-8509-0869
🕒 土・日 13:00-18:00
🗓 不定休あり



79 居酒屋 

創作みなつき

〒 三筋 1-4-1 1階
☎ 03-4400-5114
🕒 土・日 11:30-14:00
17:00-22:00
🗓 日



9 歯科医院 

ひきは歯科医院

〒 蔵前 4-33-8 HKビル2階
☎ 03-3865-3418
🕒 午前診療 10:00-13:00
午後診療 14:30-18:30
🗓 土・日



68 書店 

透明書店

〒 寿 3-13-14
☎ 03-6231-6775
🕒 12:00-19:00
※イベント時変更有
🗓 火・水



53 美容製品販売店 

タマ美容化学

〒 小島 2-18-14
☎ 03-3851-8707
🕒 平日 11:00-18:00
土 11:00-19:00
🗓 日・火



32 電器店 

でんきのひばり堂

〒 寿 1-2-2
☎ 03-3844-1501
🕒 9:00-17:00
🗓 日



8 額縁専門店 

nabis アートフレームショップ

〒 蔵前 4-36-11
☎ 03-5846-9718
🕒 11:00-18:00
🗓 土・日



80 イタリア料理店 

蔵前イタリアン ピンツォ

〒 蔵前 2-15-7
☎ 03-6338-7866
🕒 12:00-15:00
18:00-22:30
🗓 日



15 電器店 

ひきは電機

〒 蔵前 4-33-8 HKビル1階



69 衣料品店 

J's

〒 蔵前 3-9-8
☎ 03-5823-4214
🕒 11:00-19:00
🗓 月



56 靴店 

TINT TINT & KIKOTTO

〒 寿 3-16-10
☎ 090-6007-3664
🕒 10:00-19:00
🗓 木・第2、4週の月




38 金属雑貨店 

蔵前れとろま

〒 蔵前 3-2-4
☎ 03-6670-0800
🕒 だいたい 12:00-18:00
🗓 月・火



11 江戸指物工房 

茂上工芸

〒 蔵前 4-37-10
☎ 03-3851-6540
🕒 9:00-17:00
🗓 日・祝 土(不定休)



82 山形の肉そばとお酒 

みたて (MITATE)

〒 蔵前 2-1-23
🕒 月 11:00-14:00
水~日 11:00-14:00
18:00-22:30
🗓 火



18 仏教寺院 

龍宝寺

〒 蔵前 4-36-7
☎ 03-3851-3587



73 輸入雑貨店 

ガラクタ貿易

〒 蔵前 3-18-4
☎ 03-5809-2232
🕒 13:00-19:00
🗓 水・たまに木も



57 帽子店 

マルコ帽子店

〒 蔵前 4-37-9
☎ 03-5829-5788
🕒 金・土のみ営業 12:00-18:00
🗓 月・火・水・日



42 かばん店 

THOROUGH BRACE

〒 蔵前 4-21-10
☎ 03-5821-6627
🕒 平日 10:00-18:00
土・日 9:00-18:00
🗓 不定休



19 アンティークショップ 

Button Works

〒 蔵前 4-24-1
☎ 03-6681-0028
🕒 9:00-18:00
🗓 土・日




27 レンタルスペース 

みんなのアトリエ おくらまえ

〒 蔵前 4-12-5
真行院庫裏書院
☎ 080-7038-1178
🕒 10:00-17:00
🗓 不定休



77 ステンレス雑貨 

atelier & shop IMAIZUMI

〒 元浅草 3-9-8
☎ 080-3486-8411
🕒 10:00-17:30
🗓 土・日



60 ハリネズミアート&雑貨 

まあくる

〒 蔵前 2-18-10
☎ 11:00-18:00
🗓 日



50 革製品専門店 

Re-Bone / リボーン

〒 蔵前 4-20-12
2階A室
☎ 03-5829-4024
🕒 平日 12:00-18:00
土・日 11:30-18:30
🗓 月



23 婦人服店・ブティック 

木宮商店

〒 蔵前 4-20-5
☎ 03-6886-5545
🕒 11:00-19:00
🗓 月



2 かばん店 

蔵前街歩きリュックの店メッセージ

〒 蔵前 4-24-2
☎ 03-3861-1081
🕒 11:00-17:00
🗓 水





一覧はこちら QR コードから Google マップでもご覧頂けますくら～！

もちろん新たなメンバーも大歓迎です。
気になった方はぜひ冊子17ページのお問合せから気軽に連絡くださいね。

<p>22 鍍金工場 有限会社斎藤鍍金工場 〒蔵前 4-29-2 ☎ 03-3851-9059</p> 	<p>4 カレンダー卸 東邦カレンダー (株) 〒蔵前 4-37-11 ☎ 03-3862-8797</p> 	<p>29 完全予約制エステサロン ぐり〜んりぶる 〒元浅草 4-1-6 ☎ 03-5811-1818 🕒 10:00-20:00 ☒ 不定休</p> 		
<p>49 旗専門店 株式会社トマック 〒蔵前 4-7-1 ☎ 03-3862-7351 🕒 9:30-17:00 ☒ 土・日</p> 	<p>12 金属製品・オリジナル記念品製造 有限会社大塚徽章 〒蔵前 4-18-6 ☎ 03-3851-6011 🕒 9:00-18:00 ☒ 土・日・祝</p> 	<p>33 調剤薬局 蔵前みどり薬局 〒蔵前 4-21-9 ☎ 03-3851-0054 🕒 月・火・水・金 9:00-18:00 木 9:00-16:00 土 9:00-13:00 ☒ 日</p> 		
<p>体験 </p>			<p>13 玩具卸 株式会社エスト 〒蔵前 4-29-4 ☎ 03-5835-0637 🕒 9:00-17:00 ☒ 土・日・祝</p> 	<p>43 信用金庫 東京東信用金庫 三筋支店 〒三筋 2-15-15 ☎ 03-5820-9711 🕒 午前 9:00-11:30 午後 12:30-15:00 ☒ 土・日</p> 
<p>44 未来へ手紙が送れるお店 自由丁 〒蔵前 4-11-2 ☎ 070-9135-7383 🕒 平日 13:00-18:00 土・日 10:00-20:00 ☒ 月・火 (祝日の場合は営業)</p> 	<p>14 化粧ケース製作所 株式会社鳥居ケース製作所 〒蔵前 4-33-3 ☎ 03-3851-1022</p> 	<p>65 整体・足つぼ Body Labo らくなり 〒鳥越 2-1-7 メゾン蔵前401号室 ☎ 080-6670-3531 🕒 10:00-20:00 ☒ なし(臨時休業あり)</p> 		
<p>54 書道教室 コトノハ studio kotonoha 〒蔵前 3-18-1 ☎ 080-8040-6595 ☒ 不定休</p> 	<p>16 印刷業者 有限会社荒井松文堂印刷所 〒蔵前 4-36-4 ☎ 03-3862-4646</p> 	<p>66 エスティックサロン beauty salon ナトラ蔵前 〒寿1-3-4 プティメゾン寿1階 ☎ 03-6826-9114 🕒 月~土 11:00-20:30 日 11:00-18:30 ☒ 不定休</p> 		
<p>81 撮影スタジオ スペースK 蔵前 〒蔵前 4-30-7 タイガービル22号 ☎ 03-5829-6568 🕒 10:00-18:00 ☒ 日・祝</p> 	<p>20 イベント企画 有限会社ウェアプレミアス 〒蔵前 4-37-4 蔵前双葉ハイツ206 ☎ 03-3861-1138</p> 			

卸販売など
法人向け 

『蔵前かわら版』
第2コラム

サステナブルな蔵前を
そぞろ歩く楽しさを

こんにちは。蔵前で珈琲豆屋を営む白羽です。
今回は蔵前のゆるやかなつながりが産んだイベントをご紹介します。

2022年から蔵前では「下町そぞろめぐり」というスタンプラリーを開催しています。きっかけは新型コロナウィルスの感染防止の観点から食事は黙食、公園の遊具も使用禁止となって学校や学童と自宅の往復を繰り返した子どもたちが、びっくりするほど近所の道を知らない、近所のお店と話していない、お店に入ったことすらない、と知ったことでした。



コンプリートした人には記念品のプレゼントも。月1回しか現れないスポットもあり、コンプリートの難易度はかなり高いです。

例えば困った時、怖い思いをした時、災害が起きた時。子どもたちが頼りにできるのは一度は言葉を交わし、敷居をまたいだことがある場所のはず。蔵前には、店舗の他にも、お寺、教会、薬局、企業など、子どもたちを受け入れてくれるところがたくさんあります。そんなスポットに子どもたちが足を運び、つながってくることが地域を結び、有事にも備える第一歩になるのではないかと考えました。



修学旅行の受け入れも、各店舗が分担してみんなで取り組んでいます。

タンブラリー。スマホを持っていないでも、お小遣いが少なくて差がなく回れるように、すべて無料かつアナログで完結するルールを作りました。これまでに修学旅行や探究学習の受け入れも行い、3年間で延べ7000人楽しんでもらっています。

実はこのスタンプラリーにスポット側として参加するには、参加費の他にも1つの約束があります。「資源を適切に分別、リサイクルを行っている」「量り売りや詰め替え商品を販売している」「アップサイクルや資源化に参加している」...など、独自に作成したSDGsの理念に基づくチェックリストで15点をとれることが条件になっています。地域に地球にやさしいと胸を張って言えるスポットが参加しています。



新堀通りに面した三筋支店。多くの方が利用しています。



笑顔があふれる街に 蔵前商店街

商店街会員店舗募集中

取り組みに応援して
頂けるお店様も企業様も
募集中くら～





SDGs

KURA chan
蔵前

蔵前商店街の活動例①
ガラポン抽選会

蔵前商店街の活動例②
下町そぞろマルシェ

蔵前商店街の活動例③
蔵前エリアの街歩き情報誌

蔵前商店街の活動例④
蔵前定期清掃

問い合わせ
オープン
チャット→



問い合わせ
フォーム→




商店街
HP→




ご興味や質問のある方は上記へお気軽にお問い合わせください。


編集部便り



白羽 玲子 珈琲焙煎処縁の木
蔵前商店街に参加して、たくさんのお店さん、お住まいの方、蔵前を訪れてくださった方とつながることができました。



山本夕紀 自由丁・封灯
本誌の3、4ページの地図をご覧いただくとお分り頂けるように、蔵前には小さなエリアにたくさん素敵なお店があります。よかったですも少しのんびりしたスピードで街を歩いて、出会ったお店ひとつひとつじっくり楽しんでみて下さいね。また、本誌のコラムは街を歩くだけではなかなか分からないような、蔵前の歴史やそこで生活している人の雰囲気も知るきっかけになればと思います。いろいろな角度から蔵前のことを楽しんでもらえたら何よりです。



関明泰 角打ちカフェタバ
5年前に立ち上げた商店街も今では83店にもなるに商店街になりました。
横のつながりも大切にしている商店街でこのかわら版はその商店街メンバー全員で作りました。想いのこもった冊子です。
その各お店の魅力が載っているかわら版を手に蔵前を散策してみてください。
きつと新しいお店や出会いが見つかるでしょう!!

蔵前
かわら版
街歩きMAGAZINE
- 蔵前商店街編 -

編集 蔵前商店街
発行所 蔵前街歩き実行委員会

蔵前商店街執行部

- 会長 関明泰 (双葉食品株式会社)
- 副会長 小川 太一郎 (街歩きリュックの店 MESSAGE)
- 副会長 木宮 隆佐 (木宮商店)
- 副会長 高橋 史郎 (コフィンワ)
- 会計 永見 健 (菓匠久堂)
- 監査 齋藤 伸吾 (東邦力レンダー株式会社)

STAFF

- Publishing manager 関明泰
- Editor chief 山本夕紀 塚谷 隆治
- Writer 幸崎 浩典
- Editorial design 池嶋 徹郎 (株)マッシュ 幸崎 浩典
- Photographer 関明泰 白羽 玲子
- Sales 高橋 史郎 山本夕紀
- Cover Model

「蔵前今昔」 第二幕



近年街歩きにおすすめの街として
注目されることが多い蔵前ですが、
これまでの蔵前はどんな街だったのでしょうか？
このコラムでは、蔵前に長くゆかりのある方々へのインタビューを通じて、
時代ごとに変化する蔵前の様子を探っていきます。
今回は、平成初期から今に至る蔵前についてお話しを伺ってみました。



山本 夕紀

蔵前歴6年。未来へ手紙が送れるお店「自由丁」の店長。本誌の編集やインタビューに携っており、街についての理解を深めている最中。本対談では司会進行を担当します。



白鳥 良

台東区歴50年以上。蔵前の居心地の良さを感じながら、台東区役所にて産業振興関連の事業に長く携る。今回は、区の政策や方針についてを中心にお話し頂きました。



名児耶 秀美

2002年より蔵前にて事業を開始した「h concept」(アッシュコンセプト)の代表。街が変化していく様子を肌で感じ、その変化に合わせて自社も変化してきた軌跡をもとにお話し頂きました。



関 明泰

蔵前生まれ、蔵前育ち。「酒のフタバ」三代目の店主。本誌を発行する「蔵前商店街」の代表。今回は商店街の代表と蔵前の住人というふたつの視点で街についてお話し頂きました。



台東デザイナーズビレッジ：2004年4月に旧小島小学校の校舎を活用して設立された、創業支援施設。卒業生の多くが台東区内に事業所やアトリエを構えている。

台東デザイナーズビレッジの登場

山本…早速ですが、平成初期(1988年以降)から今に至るまでの変化で、キーとなったような出来事はあったのでしょうか？

名児耶…そうですね。台東デザイナーズビレッジ(以下デザビレ)が2004年に出来て、そのあたりから街が変わり始めた感じがしますね。

関…そうですね。でも実は僕、当時デザビレって全く知らなかったんです。(笑)山本…え！でも確かに、関さんの生業(酒屋業)とはあまり関わりのない分野ですもんね。

関…うん。存在を知った後も、デザビレは台東区の外から来た新しい人達のための施設というイメージだったから、関わりはほとんどなかったかな。

白鳥…そうですね。これから起業する若いクリエイターさんやデザイナーさんを全国から誘致して、地域ものづくりをしている方と繋げていきたいという趣旨で始まりました。

名児耶…そう。それでね、優しいおじいちゃんとおばあちゃんが大家さんだったんですよ。



僕は絶対ここでお店をやりたい！と思って、プレゼン資料を作ってそのお二人に「街の顔になるようなショップを作るので、やらせてください。でも、あんまりお金はありません！」って無茶なお願いをしに行っただけですよ。(笑)白鳥…(笑)

名児耶…そうしたら「面白そうだね。やってごらん。」って言ってくれたんだ。山本…素敵ですね。

名児耶…そうですね。それからしばらくしてスピークイーストは活動を終了して、そのあと「蔵前展」っていうのもやりました。そんな具合に、クリエイターの人たちが街の人たちと関わりながら、受け入れてもらいながら

当時は、学校の統廃合が進んでいて、廃校になった校舎の活用と産業振興を絡めた取り組みですね
名児耶…それで、見事に若くてやんちゃな面白い仲間が全国から集まってきましたね。
デザビレ1期生の中に、今では蔵前の隠れ親分みたいになつてるようなお店の人たちも何人かいますよね。(笑)
白鳥…そうですね。(笑)
ちなみに、名児耶さんはどうして蔵前にお店を構えられたのですか？
名児耶…僕は実家が墨田区で、すごく下町が好きなんです。それで起業しようとした時(2002年)に考えました。浅草は観光地ですごく元気。浅草橋も問屋街で、まだまだ元気。蔵前だけ、エアポケットみたいに空いてたんです。誰も歩いていない…。
関…悲しいけど本当にそうでした。(笑)
名児耶…いいけど本当に暖かさがあって、家賃は安い。道が、曲がりくねっていてちょっと分かりにくいんだけど、僕は、この街がいいと思って四畳半のところに借りて、会社をスタートしたんですよ。



モノマチ：台東区南部のものづくり関連企業(工場やアトリエを含む)が参加し、来場者が実際に工場をおとずれながらイベント限定のものづくり体験を楽しむことができるイベント。2011年に開始。

個性が育つ自由な街の背景とは
山本…では起業後、デザビレが登場し
選べられたんですね！
名児耶…そうですね。なんか、これから変わっていきけるような、すごく良い感じがしたんだよね。
関…そうですね。そのあたりから僕も何か新しい動きが生まれているんだなと感じましたね。
名児耶…僕たちは当初「モノマチ」には参加していなかったんだけど、しばらくすると「モノマチ」とは違うコ

た時はいかがでしたか？
名児耶…正直：初めは全然知らなかったです。
一同…(笑)
名児耶…その存在を感じ始めたのは、デザビレにいた1期生が卒業してからです。
1期生たちがデザビレにいる間、それ地域の職人さんたちと仲良くなり、下町の面白さとか、この街の居心地の良さに気づいて、この街に工房やショップを構え始めたんだよね。
山本…なるほど。
名児耶…そして「モノマチ」ってのが2011年に始まるんだよね。その頃から、蔵前がわざわざし始めた感じじゃない？
関…そうですね。そのあたりから僕も何か新しい動きが生まれているんだなと感じましたね。
名児耶…僕たちは当初「モノマチ」には参加していなかったんだけど、しばらくすると「モノマチ」とは違うコ

皆でわいわいし始めた感じがするんですよ。
よ。

山本…ちなみに当時、それらのイベントを開催する際に、何か区の施策を利用してはいたでしょうか？

名児耶…いや、なんせ台東区はお金持ちで切羽詰まっていなかったから、我々みたいな連中のことは放つたらかしくしてくれました。

白鳥…(笑)
名児耶…でもね。そこがよかったんですよ。野放しスタイル。

関…そうかもしれないですね。
名児耶…行政主導だと、自立心が無くなっちゃうじゃないですか。これはOKでこれはNGって決まりがあったりそういうのがないから、皆自由にやれたんです。



白鳥…私が言うのもアレですけど、確

名児耶…建物の一階というのは、街の顔になるわけだから、その顔がマンションの入り口じゃ、味気無いじゃない。屋上緑化とか言う前に、街の顔を、いい顔にしていきたいよね。

暖かく軽やかに変わっていったら

関…そうですね。本当に、これからですよ。

名児耶…これまでは自然発生的にいろんな物事が生まれて、街が良い感じに変わってきた。すると今度は「蔵前は商売になるぞ！」って人も入ってきますからね。来る人皆がいい人とは限らないから、難しいところですね。

関…僕は、そういう新しい人たちがまずはこれまでにいる人たちと横の繋がりを作れたらいいのかなと思って、この商店街を作ったところがあります。

山本…今こうして関さんと、蔵前歴6年目の私が一緒にお話ししているのは商店街のおかげでもありますが、

名児耶…なるほど。白鳥さんはどういう考えをもつてらっしゃるんですか？

白鳥…先ほどお話しに出ましたが、家賃の高騰については何が出来るかを考えていきたいと思えます。ちょうどデザビレが20周年で大規模改修をする予定なので、そこを絡めてどんなことができるかを考えているところですね。

山本…名児耶さんは、いかがですか？

名児耶…そうだなあ。作られた街には、なっってほしくないね。
山本…作られた街？

かにそういう部分もありますね。(笑)
でも実はですね、クリエイターの方など区内に店舗をつくる事業者さんには「アトリエ支援」と言って、店舗を作るための改修費用なんかを助成する制度があるんですよ。
名児耶…ええ！知らなかった！(笑)
白鳥…実は、あるんです。台東区ではデザビレ設立をきっかけに、徐々にこのような創業支援の機運は高まっています。

不動産が与える街や人への影響

関…行政の動きといえば、ワンルームマンション建設の規制をしていたときがありましたよね？

問屋さんが商売を辞めて空いた土地を、デベロッパーさんが買い占めて、ワンルームマンションをどんどん建ててようになっていた頃、それを一時期止めてくれたよね。

山本…へー！
白鳥…はい。他の地域でもワンルームマンションが多く建ち始めていた頃です。

関…規制された結果、売れなかった土地が残って、そこに新しい人たちがお店を構えるようになったという流れですよ。

山本…へえ！かなり重要な動きだったんじゃないですか？

白鳥…今思うとそうですね。台東区は町会(自治会)も十分な発言力や影響力がありますので、意見を取り入れさ

名児耶…人の吐息が感じられない街ってあると思うんです。

関…確かに、おしゃれて綺麗なんだけと寒い感じ、というか冷たい感じがする街っていうのはあるよね。

名児耶…そうそう。蔵前らしさってなんだろうって、みんなで自由に変わっていきけるような街がつくれたらいいんだろうな。

山本…人が関わり合って蔵前らしさが育まれていけば、暖かさが自然とそこにあるような気がしますね。

名児耶…街ってずっと変化していくから、「ゴールを決めてそこに向かって作っていくものじゃないか」思うんですよ。少しずつと変わっていく。その変わり方をより良い方に変えていくしかないだろうなって、思うね。

山本…そうですね。



名児耶…そうやってお互いの顔が見えとると、人って悪いことしないでしょ

せて頂いた結果の動きですね。
名児耶…さすがですね。ワンルームだと入居する人が単身だから、なかなか地域に定着しないですよね。

白鳥…はい。地域に定着して頂けないこともそうですし、地域の方との繋がりがも持ちづらいんですよ。



山本…そうなんですか？

関…お店の人との繋がりはあるかもしれないんだけど、住人との繋がりが難しいってことかな。

この辺りの町会は、子供達が楽しめる餅つきのようなイベントをやってくれるんだよね。だから家族連れであれば、なんだかんだ地域との接点が沢山あるんだけど、独り身で引越してくるとなかなか近所とも会う機会がなくて、挨拶も出来ないままだったり…。

山本…なるほど。

う。(笑)

関…確かに、そうですね。

名児耶…挨拶と、元気で、笑顔がある街がいいですね。

未来をつくる、それぞれの今

山本…では最後に、蔵前のこれから作っていく一員のお三方が、今まさに力を入れていることについてお聞きしたいと思います。

白鳥…台東区役所は2025年1月から放送開始の大河ドラマ『べらぼう』『萬重栄華乃夢断』に絡めて地域を盛り上げようとしているところです。大河ドラマ館を浅草の「台東区民会館」に設立したり、地域で大河関連の催しも増えてきますので、ぜひ一緒に盛り上げてもらえると嬉しいですね。

関…うちでは、大河にちなんで主人公の萬重が作った浮世絵の版をラベルにしたお酒を作ってみました。

山本…お！盛り上げ方は様々ありそうですね。名児耶さんはいかがですか？

名児耶…大河関連じゃなくて申し訳ないんだけど(笑)、僕は「Cera Potta(セラポッタ)」という、本場に珈琲が美味しく淹れるので、環境にも優しい器具を作ったので、これを僕は、「世界中に広めたい」と思っています。

山本…蔵前の珈琲屋さんたちが、セラポッタで珈琲を淹れる未来も素敵ですね。

名児耶…そう。いろんな人を巻き込んで何かできないかなって思っているんですよ。

関…でも地元の人たちは別に新しい人を嫌ってるわけじゃないから、何かができなくて挨拶し合えるような関係になれたら、色々と声をかけやすくなるんだと思うんですよ。

山本…うん、うん。
関…やっぱり、挨拶ですごく大事なんじゃないかなあと思うんですよ。

名児耶…規制の話でいくと、家賃を上げないってことは出来ないんですかね？

白鳥…そういう規制は、なかなか難しくして。
名児耶…ニューヨークのソーホー地区は、昔は小さなお店が沢山あってすごく面白かったのに、家賃が上がって今となっては有名ブランドばかりになっちゃいました。昔みたいな面白さがまるっきり無くなってるんですよ。

山本…家賃が高いと、ある程度お金がある企業しか入居できないですよね。

名児耶…そう。若くてやんちゃな人たちというのは、お金はないけど、やる気だけはあつみみたいな人たちのよね。そういう人がいない街って、最終的にはさびれていくんじゃないかなって僕は思うんですよ。

山本…もし蔵前が有名ブランド街だったら、「モノノチ」も「スピークイースト」も生まれてなかったでしょうね。

名児耶…生まれないだろうねえ。あとはさ、マンションの一階には店舗を絶対つくりなさいとか。規制できないんですかね？

山本…と言うと？

山本…それがまた、蔵前の新しい動きになるかもしれないですね。関さんはいかがですか？



関…商店街が主催してる、ガラホン抽選会に2000人程の方が来てくれるようになったんですよ。同時開催しているマルシェも盛り上がりが出てきています。

山本…前回で5回目の開催でしたよね。確かに、回を追うごとに盛り上がりが出てくる感覚があります。

関…うん、これをちゃんと継続していきたいし、そのために常に前向きに変化していきたいなと思ってますね。

山本…そうですね！こうして各々の取り組み一つ一つが街を作っていくことだと思えますので、私も頑張りたいです。

今日はありがとうございました。
ございました。

